

Thyme

大分県教育庁 別府教育事務所
授業改善窓口通信 第1号
令和3年5月31日(月)発行
文責 福田 美和
TEL (0977) 67-7511

「授業改善窓口」ってどんなもの？

別府教育事務所では、昨年度より3つの相談窓口を開設しています。「学校マネジメント」「個別の指導計画」、そして「授業改善窓口」です。窓口があることはご存じでも、「なんでもいいってわけじゃないよね？」と相談するのをためらう先生方もいらっしゃることでしょう。

そこで今年度は、この通信を読んでいただくことによって、実際にあった相談内容を先生方と共有させていただくと同時に、「授業改善窓口」のご活用について検討いただければと願っています。

それでは、4～5月に寄せられた相談の内容をご紹介しますことにしましょう。

相談①「入学した生徒たちが、どんな総合の授業を受けてきたか知りたい。」

別府教育事務所は、別府管内のすべての学校を訪問し、教育課程をいただいて保管しています。この相談があった学校に入学してくる生徒が通っていた小学校を確認し、その小学校の教育課程にある総合的な学習に関するページを印刷してお持ちしました。

相談②「“早わかり！単元計画の作成手順”について教えて！」

どの部分に「わかりにくさ」があるのかを確認し、作成先である義務教育課学力向上支援班に質問をした上で、ご相談をいただいた学校に電話での回答を行いました。

「早わかり！単元計画の作成手順」は、国立教育政策研究所発行の【「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料】を元に作成されています。別府教育事務所には、小中学校すべての教科のものを印刷して保管していますので、ご参考までに。

相談③「複式学級の指導についての資料があれば、もらえないかな？」

昨年度、同様の相談があり、管外で取組の進んでいる学校を訪問したときの資料を保管しています。その資料を相談いただいた学校にお持ちしました。

相談④「学校に来て、小学校外国語活動のアイデアを見せてほしいんだけど。」

小学校の外国語研修については、昨年度までの「出前研修」の取組はなくなりましたが、様々な相談をお受けしています。今回の相談を受け、市教委とタイアップして、6月に60分程度の研修を行います。アルファベットの指導や読み聞かせについてのアイデアを紹介する予定です。

※どんな内容でも構いません。日々の授業のことで何か困ったこと、知りたいことがございましたら、お気軽にご相談ください。

【通信のタイトルについて】

Thyme(タイム)はハーブの一種で、花言葉は「勇気」「活動力」。タイムの放つ香りは力強く、春に花を咲かせます。この通信を通して、授業改善窓口を通して、学校で子どもたちのために頑張っている先生方に、少しでもお力添えができればという願いを込めて。